

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【88】

2. 日時：令和4年2月15日 10時00分～12時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理補佐、大野主任安全審査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他13名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 上席課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	原子力規制庁の吉崎です。それでは、島根の設工認のヒアリングで、本日は核燃料物質の取扱施設製造施設のコメント回答と、
0:00:18	解析コードの方も時間があれば、説明をお願いしますで、やり方なんですけども、2日に分けてコメントしているので、10月11日、10月19か。
0:00:30	10月19日の分のコメント回答で一旦切って、質疑に入ってそれから11月2日の分の回答の説明をして、質疑に入って最後に解析コードという流れにしたいと思いますが、
0:00:44	それでよろしいですか。
0:00:50	中国電力の村重です。はい。そのような進め方で進めさせていただければと思います。よろしくお願ひいたします。
0:00:58	はい、それでは説明をお願いします。
0:01:05	中国電力の村重です。それではご説明をさせていただきます。まず、本日ご用意した資料の確認から、とさせていただきます。
0:01:16	本日ご用意した資料全部で15個ございます。そのうち10個が衛藤コメント回答に関するもので残りの5個が、解析コードに関する資料でございます。
0:01:28	まずコメント回答に関する資料の確認です。まず一つ目、資料番号、NSⅡ－他－048。
0:01:38	資料名称としましては、島根原子力発電所第2号機指摘事項に対する回答整理表、
0:01:46	衛藤核燃料物質の取扱施設及びちよ、貯蔵施設が一つ目でございます。
0:01:53	衛藤二つ目の資料が、資料番号N-Sに－. 1-04、4階01ということで、資料名称として、6-1-3-2。
0:02:05	未臨界性評価に関する説明資料が二つ目で三つ目が、その衛藤先行プラントとの比較所として資料番号としては、N-S2-添1-044 括弧日。
0:02:20	の、土塊01でございます。
0:02:23	三つ目が、資料番号N-S2-添1-045 回、L01で、資料名称としましては、6-1-3-3。
0:02:33	ということで重量物落下に関する説明資料でございます。
0:02:38	五つ目が、
0:02:41	と説明、衛藤先行プラントとの比較表で、資料番号としましては、N-S2-1045の括弧日野会01でございます。
0:02:52	六つ目が、資料番号N-S2-添1-046-01で、資料名称、6-1-3-4、
0:03:02	一応、燃料プールの冷却能力に関する説明書でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:08	七つ目、その江藤冷却能力に関する先行プラントの比較表として資料番号としましては、N-S2-添 1-046 のカッコ費の 01 でございます。
0:03:21	八つ目が、資料番号。
0:03:25	NS2-添 1-047 の階 01 で、資料名称としましては、6-1-3-5、し、使用済み燃料貯蔵槽の水深の遮へい能力に関する説明書でございます。
0:03:39	九つ目が、衛藤衛藤冷却遮へい能力に関する説明書の先行プラントとの比較表で、資料番号としましては、N-S2-添 1、
0:03:48	-047 の(2)のAと書い 01 でございます。
0:03:53	続いて 10 個目、江藤が資料番号N-S2-ホ-007 の甲斐 02。
0:04:01	で、資料名称としましては、工事計画に係る補足説明資料で、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、
0:04:10	今の申し上げた 10 個が、コメント回答に関する資料でございます。
0:04:16	続いて解析コードに関する資料全部で五つございますのでその確認をさせていただきます。まず資料番号N-S2-添 5-008 ということで、
0:04:28	6-5-8、計算プログラム、過去解析コードの概要ということで、スケールの説明資料でございます。
0:04:35	続いて資料番号N-S2-添 5-011 で、資料版資料名称としましては 6-5-11、
0:04:45	計算機プログラムの概要ということでQAD、iPhoneCGP II Rの説明資料でございます。
0:04:53	続いて、資料番号N-S2-添 5-012 ということで、資料名称としましては、6-5-12、計算機プログラムの概要ということで、オリゲン II の説明資料でございます。
0:05:08	続いて、資料番号N-S2-添 5-015 ということで、治療名称としましては 6-5-15 計算機プログラムの概要でとはいSAPに関する説明資料でございます。
0:05:21	続いてこちら、最後になりますけれども、資料番号N-S2-ホ-031 ということで、工事計画に係る補足説明資料で、計算機プログラム括弧解析コードの概要と、
0:05:33	いうところで補足説明資料をご用意してございます。
0:05:37	以上 15 行、本日ご用意した資料になります。資料はおそろいでしょうか。
0:05:43	規制庁です。はい。確認しました。
0:05:47	はい、ありがとうございます。それでは、まず、コメント回答の方から土師へと進めさせていただきます。
0:05:54	当資料、資料番号として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:57	NS2－他－048 の資料をお願いいたします。
0:06:04	こちらの資料のナンバー1 から衛藤沿ってコメント回答に関する説明をさせていただきます。まず、未臨界性評価に関するコメント回答の江藤説明をさせていただきます。
0:06:18	衛藤臨界評価に関するコメント回答としましては、コメント項目としてはナンバー1 と2 の二つでございます。まずナンバー1 に関する説明をさせていただきます。
0:06:30	コメント内容として実効増倍率について大規模漏えい時及び小規模漏えい時の計算結果の通知の丸め方について説明することということのコメントがございました。
0:06:42	これに関する回答としまして、
0:06:45	本文中の大規模漏えい時の未臨界性評価結果について、衛藤、従前小数点第3位まで記載をしていたんですけども、この第3位を切り上げ処理して、
0:06:56	有効数字蓋桁で記載をして、小規模漏えい時と同じ表示桁になるようにそろえたということをしてございます。また、この全厚プラントとの比較表の備考欄に、
0:07:09	切り上げ処理をしたという旨を追加しております。
0:07:12	資料の反映箇所としては、まず、N－S2－. 1044 回 01 の4ページをお願いいたします。
0:07:26	はい。こちらの4ページ、一番下の黄色ハッチングしているところでございますけれども、0.93 ということで、有効数字蓋桁で記載しております。
0:07:36	また、同じ箇所の比較表ですけれどもN－S2－. 1044 回、失礼しました。044 括弧日野甲斐 01 の6ページ目をお願いいたします。
0:07:54	先ほど本体資料の方でご説明をした、0.93 というところと、その右側の備考欄の箇所ですけれども、切り上げ処理をしたという旨を記載を追記しております。
0:08:09	一つ目に関するコメント回答は以上です。
0:08:11	続きまして、ナンバー2 二つ目のコメントに関する回答でございます。コメント内容としまして、鉛直方向の使用済み燃料貯蔵ラックの計算体系について、無限長とすることが保守的な評価となる理由を説明すること。
0:08:27	また、燃料集合体上部断面を評価に用いていることを図に示すことということ、コメントがございました。これに関する回答ですけれども、まず、
0:08:37	背景が家への中性子の漏れがなくなるということでございますので、衛藤保守的な条件になるというところを計算条件に追記しております。また、AII直方

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	向の計算モデルに関する図を、補足説明資料のほうに追記をしてございます。
0:08:54	資料の具体的な反映箇所としましては、まずN-S2-1044 回 01 の 3 ページ目をお願いいたします。
0:09:08	こちら下の箇所のところ黄色ハッチングしている箇所がございませけれども、計算方法のBポツというところで、体系外への中性子の漏れがない保守的な条件とすると。
0:09:18	いうところを記載、追記をしてございます。
0:09:21	また、補足説明資料の追記箇所ですけれども、N-S2-5007 回 02 の通し番号 10 ページ目をお願いいたします。
0:09:39	はい。こちら、2 ポツということで未臨界性評価における計算体系設定の考え方というところの説明箇所でございますけれども、こちらに衛藤鉛直方向に関する江藤計算モデルの図を追記してございます。
0:09:56	はい。ナンバーツーに衛藤な二つ目のコメントに関する指摘は、指摘に対する回答は以上でございます。
0:10:04	続いてコメント会、コメント箇所ではないところですが、記載の適正化を行った箇所についてご説明をさせていただきます。
0:10:13	資料番号N-S2-他 048 の、通し番号 5 ページ目をお願いいたします。
0:10:22	こちらに工認、記載の適正化箇所を整理したものを準備しておりまして未臨界性評価に関する資料につきましてはこのNo. 1 からNo.4 に関する箇所を、
0:10:34	前回のヒアリングから適正化をしてございます。
0:10:37	衛藤。まず一つ目と二つ目、こちら同じような内容等でまとめてご説明させていただきますと、衛藤、説明書の中のところでちょっとかぎ括弧の記載が、位置がちょっと適正ではなかったというところがございますので、
0:10:51	こちら修正をしております。
0:10:53	具体的な場所としては、当資料に記載をしております通り、
0:10:59	未臨界性評価に関する説明書の 1 ページ目のところ、
0:11:03	黄色ハッチングしている箇所でございますけれども、ここを修正してございます。
0:11:08	また、と同じ、同じ 1 ページ目のところですが、
0:11:16	説明資料の中で技術基準規則第 26 条の要求事項に変更がないためという記載がございましたけれども、こちらが何の、
0:11:26	何かの変更がないのかというところを、よりわかりやすくするという観点から、記載を追記してございます。
0:11:33	記載箇所としては同じ説明資料の 1 ページ目でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:38	続いて衛藤比較表の方。
0:11:41	の適正化箇所 1ヶ所ございましてそこもご説明させていただきます。四つ目の記載適正化箇所でございますけれども、比較表の備考欄のところに、計算機プログラムに関する比較に関して先行プラントと相違がないと。
0:11:56	いうところを備考欄に追記をしております。反映箇所としては未臨界性評価の先行プラントとの比較表。
0:12:03	の 1 ページ目でございます。
0:12:10	こちらに先行プラントと相違がないという趣旨の記載を追求をしております。
0:12:16	未臨界性評価に関するコメント回答及び駅齋木適正化箇所は以上でございます。
0:12:24	中国電力のミナミダテです。続きまして重量物落下に関するコメントに対し回答させていただきます。
0:12:31	資料番号N-Sにほか、048、指摘事項に対する回答整理表の順にご説明いたします。
0:12:39	資料番号N-Sに小野 007 回 02 の補足乙、補足説明資料の通しの 33 ページをお願いします。
0:12:53	コメントNo.3。
0:12:55	原子炉建物天井クレーンのインターロックの三つのモードAからCについて、Cモードの範囲を図示すること。
0:13:02	につきまして、図の 3-3、
0:13:06	原子炉建物天井クレーンのインターロック括弧Cモードによる移送範囲を追加し、新保ドイツさん、移送範囲を
0:13:14	図示いたしました。
0:13:17	同じ資料補足説明資料の 32 ページをお願いします。
0:13:23	コメントNo. 4、
0:13:25	原子炉建物天井クレーンインターロックのモードの切り換え方法について説明することにつきまして、補足説明資料 32 ページにて黄色ハッチング部分に説明を追記。
0:13:37	しております。
0:13:40	モード切り換えは運転室内の
0:13:43	操作盤上のモード切り換えスイッチにより行います。
0:13:47	また、移送範囲を制限しないCモードは、
0:13:51	使用済み燃料輸送容器や重量物を移送する場合には使用しない旨を、
0:13:56	追記しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:59	資料番号N-S2-104号、括弧非会01、重量物落下の比較表の19ページをお願いいたします。
0:14:15	コメントNo.5。
0:14:17	重量物の落下対策について、
0:14:20	落下物の抽出の基準として、離隔距離がある、あるならば、その基準を示すことにつきまして、比較表の19ページ、20ページの表1に、中期5を追加し、
0:14:33	燃料プール手すりの外側にある異物混入防止エリアフェンスの外側に設置、保管及び取り扱う設備等を、離隔距離が確保できるものとして整理している旨を追記しております。
0:14:47	同じページになりますが、コメントNo. 6、重量物落下対策について、離隔対象と固縛対象の考え方及び具体的な落下防止対策、並びにそれらの
0:15:01	先行審査プラントとの差異を示すことにつきまして、比較表の19ページ20ページの
0:15:07	今日、
0:15:08	4-1に中期5を追加しております。
0:15:12	味覚の考えにつきましては、コメントNo. 5と同様です。
0:15:18	固縛対象の考え方については、常設している設備等に対し、
0:15:25	床や、
0:15:27	床壁面にボール等による固定、またはロープ等による固縛を実施するものを対象としており、その旨を表4-1の中期5に追記いたしました。
0:15:39	先行プラントとは離隔対象及び固縛対象の考え方に差異はありません。また、落下防止対策につきまして、対策の要否を要否の基準としている落下エネルギーにつきまして、
0:15:53	15.5キロジュールというところで、他社も同様になっておりますので、対策につきましても、
0:16:01	基準地震動Ssに対して落下防止を行うことから、差異はないものと考えております。
0:16:09	同じ比較表の5ページをお願いいたします。
0:16:16	コメントNo.7、原子炉建物天井クレーンの主巻服と小牧副の設計の違いについて説明することにつきまして、
0:16:25	3ポツ2行に記載の通り、原子炉建物天井クレーンのしま起伏補巻服は、電磁ブレーキのスプリング機構を有しており、フックにつきましても、玉掛け用のワイヤーロープ等が当該フックから外れることを防止するため、
0:16:40	の設備を設けております。
0:16:43	主巻フックと補巻フックの相違点につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:47	使用済み燃料輸送機等の重量物を移送する主巻服は二重のワイヤーロープで保持し、定格荷重は 125 トンですが、
0:16:56	新燃料を移送する補巻服は一重のワイヤーロープで欲しい定格荷重は 5 トンとなります。
0:17:02	移送する対象及び定格荷重につきましては、記載していなかったため資料に追記いたしました。
0:17:11	資料番号N-S2-5-007 回の 02。
0:17:16	補足説明資料の通し番号の 35 ページをお願いいたします。
0:17:25	コメントNo. 8 チャンネル着脱装置の待機児の状態及びチャンネル着脱装置等、燃料プールの水深の位置関係について説明することにつきまして、
0:17:38	チャンネル着脱装置のカートは、常時は、通常時は燃料プール底部で待機している旨を追記しております。また、
0:17:47	チャンネル着脱装置と燃料プールの水深の位置関係につきましては、
0:17:51	遮へい水深として
0:17:54	2460mmを確保できる構造となっている旨を追記しております。
0:18:00	37 ページの図 4-2 につきましても、燃料有効長上端位置と、水深遮へい水深について追記をさせていただいております。
0:18:13	同じ補足説明資料の通しの 41 ページをお願いいたします。
0:18:22	コメントNo. 9、
0:18:24	ワイヤーロープ、
0:18:25	過去グラップルツリーの方が、節ANSI、ワイヤーロープ伸縮管つりのみで、
0:18:32	燃料取替機の伸縮管とグラップル映っている状態になった場合でもそれらの接合部が破断し、つり具
0:18:39	吊荷が落下しないことを説明。
0:18:41	吊荷が落下しないことを示すことについて、
0:18:44	グラップルのナットは、グラップルシャフトにねじ込みで固定されていること、また、伸縮管の底部は複数本のボルトで固定されておまして、
0:18:53	ボルトの、
0:18:55	引張強さ、522 トン。
0:18:58	3 平方ミリメートルに対し発生応力が小さいことから、衝撃荷重に対し十分な強度を有し、
0:19:05	次に及びグラップルを保持可能な設計としている旨を追記しております。
0:19:11	42 ページの図の 6-1 につきましても、納豆及びボルトを追記し、図上でもわかるようにさせていただきました。
0:19:21	重量物落下に関するコメントは以上となります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:26	続きまして、記載適正化箇所につきまして説明いたします。
0:19:33	資料番号N-S2.104号、括弧非開示01、重量物落下の比較表の1ページをお願いいたします。
0:19:47	類型化の一覧表を追記しております。
0:19:51	2ページをお願いいたします。
0:19:56	黄色ハッチング箇所の備考につきまして、具体的な記載となるよう適正化をいたしました。
0:20:03	5ページをお願いします。
0:20:09	備考につきまして、前回ヒアリング時には②の相違とする旨の記載をしておりましたが、記載、相違箇所の箇所数が少ないこと、また、
0:20:19	備考の記載自体も長くないことから、類型化しないことといたしました。
0:20:25	7ページをお願いします。
0:20:29	比較表の備考欄で記載していた燃料体等が漏えい。
0:20:34	検知溝上に落下した場合の影響評価について、添付に示す旨を本文に追記いたしました。
0:20:42	8ページをお願いいたします。
0:20:46	表3-1について備考の充実を図っております。
0:20:51	10ページをお願いいたします。
0:20:56	前回ヒアリングにて、燃料取替機の燃料集合体のハンドルはどの部分かというご質問がありましたので、図3-1に追記いたしました。
0:21:10	13ページをお願いいたします。
0:21:14	黄色ハッチング部分について、前回平ヒアリング時には②の相違としておりましたが、類型化しないように修正しております。
0:21:24	14ページをお願いいたします。
0:21:28	図3-6の下線及び備考について追記をしております。
0:21:34	15ページをお願いします。
0:21:37	図3-7の下線部及び備考について追記をしております。
0:21:46	18ページをお願いいたします。
0:21:50	図4-1中の黄色ハッチング箇所につきまして、作業計画と記載しておりましたが誤記であったため作業実績に修正しております。
0:21:59	19ページの表4-1につきましても同様な修正を行っております。
0:22:07	19ページをお願いいたします。
0:22:11	前回ヒアリングにおいて、表4-1中の落下エネルギーがバーとなっている箇所の理由についてご質問がありましたので、※4を追記いたしました。
0:22:22	20ページに記載しておりますが、当該

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:26	当該番号に分類するすべての設備が離隔を確保できていることを確認していることから、落下エネルギーの評価は省略しております。
0:22:37	また、表 4-1 について備考の記載を充実しております。
0:22:45	21 ページをお願いいたします。
0:22:48	図 4-2 の下線及び備考について追記を行いました。
0:22:54	二つ目の備考について、燃料取替機を、の想定される最大荷重について追記しております。
0:23:04	23 ページをお願いします。
0:23:09	図。
0:23:11	図 3-4 の河川及び備考について追記を行いました。
0:23:17	また二つ目の備考につきまして、原子炉建物天井クレーンの想定される最大荷重について追記しました。
0:23:25	24 ページをお願いします。
0:23:29	図 4-4 の河川及び備考について追記を行いました。
0:23:36	26 ページをお願いします。
0:23:41	図 5-3 につきまして備考の記載を拡充、充実いたしました。
0:23:49	資料番号N-S2 の補-007 回の 02、補足説明資料の通し番号の 32 ページをお願いいたします。
0:24:05	図 4-1 の図名称について適正化を行っております。
0:24:12	通し番号 32 ページをお願いします。
0:24:19	図 3-1 と図 3-2 につきまして、前回ヒアリング時には、Bモードモードの順に記載しておりましたが、この度Cモードも追記したことから、図の順番をABCの順番に並べるように修正しております。
0:24:35	重量物落下に関する
0:24:38	修正箇所は以上となります。
0:24:42	中国電力藤木です。
0:24:48	申し上げます一旦、次。
0:24:50	をお願いいたしたいと思います。
0:24:54	はい。規制庁の井関です。説明ありがとうございました。それでは前半のコメント回答に対する確認。
0:25:04	ですけども、
0:25:09	2 番目のコメント回答の、燃料集合体上部断面を評価に用いていることを図に示すってのは、
0:25:17	これは先ほどの、
0:25:19	ずっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:21	どこになるんでしょうか。
0:25:26	はい。衛藤中国電力の村重です。資料番号N-S2-ホ-007 階 0 新野栄寿 通し番号 10 ページ目をお願いいたします。
0:25:39	はい、どうぞ。
0:25:40	はい。
0:25:41	はい。こちら、ちょっとマスキング箇所の中でございますけれども、衛藤。
0:25:46	この上部を使っているという趣旨の記載を、マスキング箇所図の 2-1 のマスキング箇所の中でございますけれども、そこに追記をしてございます。以上です。
0:26:08	なるほど。規制庁の吉田です。この松木野中の注記記載っていう、そういう理解でよろしいんですか。
0:26:16	はい。中国電力の村重です。ご認識の通りでございます。衛藤。この後、ご指摘を踏まえて計算体系、計算のモデルも追加した方がいいと。
0:26:26	いうふうに考えましたので図を追記したのと、ご指摘の趣旨のところを、この図の中に追記したというところでございます。以上です。
0:26:38	規制庁吉崎です。了解しました。
0:26:41	それではそこは、として、
0:26:45	3 番の天井クレーンのCモードの稼働範囲なんですけども、これ先ほど図の 3-3 を追記してもらったんですけどもこれは、
0:26:54	ここは僕けどもうシームは使わないって説明でよろしかったでしょうか。
0:27:04	中国電力のミナミダテです。はい。新オオノ
0:27:08	重量物を運ぶときには使わないような運用にするように考えております。
0:27:14	以上です。
0:27:16	規制庁の井関です。そこを確認したかったんですけど、そこは
0:27:21	どっか記載ありましたよね。ちょっとそこを知りたいんですけども。
0:27:28	中国電力のミナミダテです。
0:27:35	資料番号のN-S2 の補-007 回 02 の通しページの 32 ページになっております。
0:27:46	32 ページのページ中段ほどですね、そちらに、
0:27:53	Cモードは燃料プール上へのアクセス可能なものではあるが、使用済み燃料輸送容器や重量物を移送する場合には使用しないというような記載をしております。以上です。
0:28:08	規制庁吉崎です 4 ページの
0:28:11	3-1 の上のところですね。
0:28:13	了解しましたこれ合ってるってことで、はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:42	規制庁の井関ですコメントの 8 番の。
0:28:46	このプールの強い遮へい水推進として、
0:28:50	何ミリ確保できる構造っていうところは、ちょっとここも追えなかったんですけども資料は、
0:28:57	どこに書いてあるのか説明してますか。
0:29:03	中国電力のミナミダテです。先ほどと同じ
0:29:07	N-S2 の方、007 回 02 の補足説明資料の通しページで 35 ページ、資料のページ数で 7 ページの
0:29:18	上段の方の黄色ハッチング箇所になっております。
0:29:22	そちらに、
0:29:24	遮へい水深として 2460mmを確保できる構造とする。また、燃料集合体がん会館検査時には、チャンネル着脱装置上部において、
0:29:35	放射線を測定し、線量を管理するという旨を追記しております。
0:29:40	また、37 ページ、通し番号 37 ページ、資料のページでいうと 9 ページの、
0:29:48	図 4-2 につきましても、遮へい水深等燃料有効長上端位置の方を追記するようにいたしました。以上です。
0:29:59	規制庁質疑で確認できました上の文章のところ、
0:30:04	35 ページと 37 ページの図 4-2 のこの
0:30:08	マスキングの中の記載を確認しました。了解しました。
0:30:13	あとですねコメント 9 番のところの、
0:30:17	補足説明資料のところで確認なんですけども、
0:30:20	7 ページ。
0:30:29	41 ページのこの説明の一番最初の 6 ポツのワイヤーロープ 2 本を有しており、1 本が、
0:30:38	燃料集合体及びグラップルをもう 1 本は伸縮さんを、
0:30:42	この、最初の 1 本ともう 1 本は、この 4 の 42 ページの 6 の図 6-1 でいうと、
0:30:50	これはどっちがどっちになるんですか。
0:30:56	中国電力のミナミダテです。
0:31:02	グラップルつりと書かれている今回
0:31:06	グラップルシャフトのグラップルか小倉物理と書いた方が切れた場合を想定してるんですけども、そちらがですね、図の 6-1 の左下の図、
0:31:18	こちらで言いますと、ワイヤーが上から 2 本延びていると、いるように見えていと思うんですけどもそちらの左側が切れた場合のことになっております。
0:31:30	こちらが切れた場合にもですね、
0:31:36	ここにシャフトにナットがついてると思うんですけども、ナットと伸縮管の底部、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:45	ここが接触して止まると、この時にナットは、ねじ込み式でしっかり止めてあるものと、また、そこが抜けるのではないかという疑問に対しましては、今回ボルトのほうを追記しておるんですけども、
0:31:59	このボルトがですね、今、上から下の、
0:32:04	上から伸縮艦隊等伸縮管底部を止めるように、はい。
0:32:10	止めるように設置されるように図を記載しておりますけれどもこれが服装複数本、
0:32:17	A、
0:32:19	ありまして、これらのV2の発生応力に対しまして、ボルトの引張強さというのは十分な数値であることから、落ちることはないですと。
0:32:31	そういうことを説明しております。以上です。
0:32:36	吉ヨシザキですこの構造で
0:32:39	ボール等とナットのところで引っかかって全体的に押さえるのはわかったんですけど少し
0:32:46	先ほどの説明ではよく日本ようしており1本が燃料集合体グラップルオオノところは、
0:32:53	令和、この6-1の図の左下のワイヤーロープでいうと、
0:33:00	グラップルリ。
0:33:02	新主幹釣り。
0:33:08	どちらを指している。
0:33:10	んでしょうか。何か。
0:33:12	少しややこしくなってるんで、ただ単なる明確にして欲しいっていただけなんですけど。
0:33:18	中国電力のミナミダテです。申し訳ございません。今回説明しましたのは、ワイヤーロープ2本がありまして、グラップルずり等伸縮管刷りの2本があります。
0:33:30	このうちですね、
0:33:32	グラップル刷りが切れた場合のことについて説明しております。
0:33:36	ワイヤーロープの伸縮管刷りの、が切れた場合のことにつきましては、
0:33:42	補足説明資料の43ページ以降に行って、説明していたんですけども、このグラップルつり側が切れた場合につきまして、
0:33:53	詳細にこう書いていなかったことから、今回、追記したといったものです。以上です。
0:34:40	規制庁のです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:41	すいません。ぐるり下げてそれをボルトで耐えるような勧めがいろいろあるんですが、これは喜多医師の方でもうこの話は説明するという理解でよろしいでしょうか。強度評価。
0:34:56	耐震化、
0:35:06	中国電力ミナミダテです。ここの細かい先端の構造とかそういったものは
0:35:12	現状説明スルー予定はしておりません。以上です。
0:35:20	ちょっとまだ、この
0:35:26	クレーンとカーの説明は出てきて、対引き出しのことが出てきてないと思うんですけど、
0:35:32	どういうふうについて説明するか今わかりますか。
0:35:41	少々お待ちください。
0:35:58	中国電力のミナミダテです。本体側の
0:36:04	強度落下と強度につきまして
0:36:11	説明することを確認しております。そのほか詳しいことにつきましてちょっとすいません今の段階では
0:36:19	ちょっと確認しておりません。
0:36:21	以上です。わかりましたととりあえず結構です。
0:36:27	市長伊勢木下先ほどのちょっと、6 ポツの上のところ 2 行、少し
0:36:34	1 本が、燃料仕事えびグラップルをというのがこれは、
0:36:42	だからこの 2 本の説明をしていてってということでも、
0:36:46	よろしいですね、このワイヤー日本のことを説明してところが最初の 2 行。
0:36:51	で、要はこのどっちを 1、
0:36:54	言ってるかっていうことだけを、
0:36:59	明確にさせていただきたいということだけだったんですけど、
0:37:04	意味ついてます。
0:37:06	はい。
0:37:07	中国電力のミナミダテです。承知しましたなお書きの部分、吉崎さんが言われているのはなお書きの部分かと思われるんですけどもなお、このグラップル側のワイヤーロープが切断した場合と、
0:37:20	今そのグラップル側のワイヤーロープといいますのは、図の 6-1 のワイヤーロープの括弧グラップルつりと書かれた方になっております。
0:37:29	すいません。ずっとここの記載の名称が合っていないことが、ちょっとわかりにくかったと思うので、こちらにつきましては、ワイヤーロープ括弧。
0:37:41	グラップルつりと記載しようと思いますが、いかがでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:45	成長して、それでいいですこの 6 ポツの文章でこの図に書いてあるその用語等、その文章の要望の統一を図っていただきたいという、それだけのコメントです。
0:38:00	中国電力ミナミダテです。承知いたしました。
0:38:05	はい、少々お待ちください。
0:38:13	規制庁吉崎です前半はこれでOKなので、後半の説明お願いします。
0:38:27	中国電力。
0:38:28	宇野ミナミダテです。
0:38:32	明確能力。
0:38:35	失礼いたしました。中国電力のミナミダテです。冷却能力に関するコメントに対し回答させていただきます。
0:38:42	こちらにつきましても本日の資料の指摘事項に対する回答整理表の順にご説明いたします。
0:38:52	資料番号N-S2.01、046、括弧日。
0:38:59	会議の 01、冷却の冷却能力の比較表の 6 ページをお願いいたします。
0:39:09	コメントNo. 10、
0:39:12	燃料プール熱負荷、括弧キロワットについて、項目間での繋がりがわかるように、明確にすることについて、旧の
0:39:24	旧の燃料プール熱負荷キロワットに注記を振っておりまして、原子炉、
0:39:31	原子炉運転中及び停止中の燃料プールの熱負荷について、表 3-2 及び表の 3-3 に記載ということを追記いたしました。
0:39:46	続きまして同比較表の 13 ページをお願いいたします。
0:39:52	コメントNo.11、注記の下ベンチ
0:39:56	48 立米パーアワー以上について、可搬型燃料スプレインズル使用時の系統の下限值ある旨を明確にすることにつきまして、下限値、
0:40:08	48 立米パーアワーが、燃料プールスプレイ系カックハンあたスプレインズルによる遠慮プール注水時の流量である旨を記載いたしました。
0:40:20	同比較表の 17 ページをお願いいたします。
0:40:26	コメントNo.12、スプレイ、
0:40:30	スプレー括弧切り上に、必要な圧力を明確にすることにつきまして、表 3-4 に、の項目に、スプレイヘッダノズル必要圧力括弧切り所を追記いたしました。
0:40:43	同資料 20 ページをお願いいたします。
0:40:48	コメントNo.13、
0:40:50	三野新聞エリアの設定根拠について説明することにつきまして、取り出した直後の崩壊熱が大きい燃料について、分散は

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:00	1、(1)未配置して保管するために炉心分のエリアを、
0:41:05	エリアとする旨を追記いたしました。
0:41:10	同資料 19 ページをお願いいたします。
0:41:14	コメントNo.14、
0:41:16	ラック 1 カッコハン例を明確にすることにつきまして、図 3-2 に凡例、
0:41:23	使用済み燃料ラック設置範囲を追記いたしました。
0:41:32	続きまして資料番号N-Sに補-007 回、02 の補足説明資料投資の
0:41:41	74 ページをお願いいたします。
0:41:53	コメントNo.15。
0:41:56	高温燃料保管エリアと低温燃料保管エリアを明確にすることにつきまして、図 1-9 に、
0:42:04	高温燃料域の範囲を示す凡例を追記いたしました。
0:42:10	また、同ページになりますが、コメントNo.16、
0:42:15	図。
0:42:16	1-9、
0:42:17	コンター図のスプレー分布について考察することについて、
0:42:21	常設スプレイヘッドにつきましては、ノズルの構成を複数パターン検討した上で、使用済み燃料ラック全面にスプレイできるものを選択し、モックアップ試験を実施してスプレイ範囲及びスプレイ流量を確認しているものです。
0:42:36	こちらにつきまして、図 1-9 に示すスプレイ分布に、
0:42:40	につきましては、ノズルの配置案燃料プール壁面でまで到達したスプレイ水の跳ね返り等から、このような分布になるということを考えております。
0:42:51	その旨を
0:42:53	74 ページの上段黄色ハッチング部分に追記いたしました。また、図の 1-9 の常設スプレイヘッドを構成するので、
0:43:03	図 1-9 に、常設スプレイヘッドを構成するノズルの種類及び配置について追記させていただいております。
0:43:15	資料番号NS2.1046、括弧日野甲斐 01、冷却能力の比較表の 1 ページをお願いいたします。
0:43:31	コメントNo.17。
0:43:33	類型化の一覧を追加することについて、比較表の 1 ページ目に類型化の一覧表を追加しております。
0:43:43	資料番号N-S2 の補 007 回 02、補足説明資料の通し番号 68 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:02	コメントNo.26、流量の単位について、1時間当たりとわかるように記載を適正化することにつきまして、当該箇所の単位を、
0:44:12	立米パーアワーの方に修正しております。
0:44:16	冷却能力に関するコメント回答は以上となります。
0:44:20	続きまして記載適正化箇所について説明いたします。
0:44:26	資料番号N-S2.1046、括弧日会 01、冷却能力の比較表の2ページをお願いいたします。
0:44:42	解析コードについて先行電力と相違がないことを備考に追記しております。
0:44:48	同資料の7ページをお願いいたします。
0:44:55	ページ中段の、
0:44:57	燃料集合体取りかえ対数のTHAIの時に、誤記がありましたので修正しました。
0:45:05	同資料10ページをお願いいたします。
0:45:11	二つ目の備考について、崩壊熱の評価においては、保守的に崩壊熱が発生しない、値新燃料のスペースを考慮していない旨を追記いたしました。
0:45:22	同資料11ページをお願いいたします。
0:45:27	表3-2及び次ページの表3-3につきまして、小数点の桁数の処理方法について備考に追記しております。
0:45:40	同資料12ページをお願いいたします。
0:45:45	ページ下段の備考の黄色ハッチング箇所につきまして、設置変更許可申請時申請と、設工認で数値が異なる理由を追記いたしました。
0:45:57	設置変更許可申請においては、MOX燃料及び1号燃料も考慮した、崩壊熱より、
0:46:03	蒸発量を11.4立米パーアワーとしておりましたが、本申請では、MOX燃料及び一文燃料を申請しないことから、25年に5燃料のみを考慮した蒸発量として11.3立米パーアワーとしております。
0:46:20	同資料13ページをお願いします。
0:46:25	ページ一番下の黄色ハッチング箇所につきまして、
0:46:28	資料内の表現の統一のため、損傷から破断に記載を適正化いたしました。
0:46:38	資料番号N-Sに法の007回02、補足説明資料の通し番号66ページをお願いいたします。
0:46:56	表1-1につきまして、スプレイ到達距離2、誤記がありましたので修正いたしました。
0:47:02	また、説明書の修正に合わせ、スプレイヘッダの図の必要圧力切り所を追加しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:13	同資料 70 ページをお願いいたします。
0:47:20	(1)のbボツ項の 1 行目の記載におきまして、
0:47:24	後年領域と記載すべきところを高野高温燃料領域と記載しておりましたので修正いたしました。
0:47:33	また、燃料集合体の熱出力につきまして、数値の 1000 桁の箇所 2 は、このまま記載しておりましたので、当社ルールに合わせてコンマを削除いたしました。
0:47:48	同資料の 71 ページをお願いします。
0:47:55	今日、1-2 中の単位 1\$/リットルについて、当社ルールに合わせ、足田猪野、Lに修正しております。
0:48:06	同資料の 72 ページの表 1-3 及び 74 ページの表 1-4 につきましても同様に修正しております。
0:48:18	同資料の 74 ページをお願いいたします。
0:48:25	スプレイ流量 2000 リットル%minの記載につきまして、リットルの足田井野Lに修正しております。また、数値の生活センターの箇所の
0:48:35	コンマを削除いたしました。
0:48:40	同資料の 83 ページをお願いいたします。
0:48:44	ページ中段の黄色ハッチング箇所につきまして、第 3-4 図と記載しておりましたが、図の名称に合わせて、図 3-4 に修正しております。
0:48:55	冷却能力に関する主要の、修正箇所は以上となります。ここで説明者を交代いたします。
0:49:02	中国電力の藤木です。続きまして水深の遮へいの力に関する説明書について 11 月 2 日にいただきましたコメント回答を説明させていただきます。
0:49:14	まず
0:49:16	水深の遮へい能力の比較、縦先行プラントとの比較表資料番号で言いますと、NS2-添 1-047 カッコ日会 01。
0:49:27	1 ページ目をお願いします。コメントNo. 17 番ですけれども、類型化の一覧表を追加することをコメントに、
0:49:36	ですが、次、比較表の 1 ページ目に、類型化の一覧表を追加しております。
0:49:42	続きまして、コメントNo.の 18。
0:49:45	燃料プール冷却系戻り配管について名称を統一すること。
0:49:49	として回答として、燃料プール冷却系戻り配管に記載を統一しております。
0:49:55	先行プラントの比較表の中でページ 1 番号でいきますと、5 ページ、19 ページ、21 ページ、22 ページ、24 ページの
0:50:05	記載及び図中の表現について記載をすべて反映しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:11	続きましてコメントNo.19、サイフォンブレイク配管設置場所及び燃料プール冷却系戻り配管の位置について、図中でわかりやすく示すこと。こちら、比較表の21ページ目をお願いします。
0:50:30	21ページの上の、上段の方の図5-4の中の、こちらの、
0:50:37	左上の方に書いてあります配管破断による燃料プールの水位低下位置が、以前は、右の方にあります燃料プール、
0:50:46	利益だけ戻り配管の配管の
0:50:49	上上端の部分になっておりましたので、の方になっておりましたのを、下の方に修正しております。
0:50:59	続きましてコメントナンバー
0:51:02	10番、表4-1について、節に示している線源強度算出の文献値等を追記すること。
0:51:10	でございます。こちら、比較表の9ページ目をお願いいたします。
0:51:16	いうページ目、表4-1、使用済み燃料の線源強度。
0:51:21	の中に、群数の番号と、あと文献値から読み取った数値を記載し、
0:51:27	さしていただいております。
0:51:28	また、
0:51:31	注記の※1の中に文献の名前を記載してるんですけども、その中で、この文献の値を読み取ったテーブルの番号とそこから内政ナイトウしているという、
0:51:41	記載を追記しております。
0:51:45	続きまして、コメントNo. 21。
0:51:48	使用済み制御棒。
0:51:51	の、評価条件について自己遮へい効果に関する説明を追記すること。
0:51:55	ですが、各表の6ページ目をお願いします。
0:52:01	6ページの
0:52:04	下の方の(3)のところになりますけども、黄色ハッチングしている部分。
0:52:09	使用済み制御棒の、
0:52:11	密度は自己遮へい効果を保守的に評価するため、遮へい能力は、
0:52:16	構造部材より小さい水とみなすというふうに記載を修正しております。
0:52:23	続きましてコメントNo. 22。
0:52:26	使用済み制御棒貯蔵ラックの保管場所について補足説明資料に図等を追記することでございますが、こちら、補足説明資料、資料番号N-Sに、
0:52:36	007回、02の通し番号、通しページ91ページ目をお願いします。
0:52:46	91ページですが、図の4-1。
0:52:50	の中のまず上段の方にあります水平、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:53	水平、平面図の中の真ん中の辺りにある緑の四角で制御棒貯蔵ラックを追記しました。また下の方の断面図についても、
0:53:03	プールの底部の方に制御棒貯蔵ラックがわかるような、わかるように記載をしております。
0:53:12	続きましてコメントNo. 23 億、施設機能維持要求に関する記載について、先行電力との、の説明内容と相違なければ、記載を合わせることに、それは比較表の方に戻っていただきまして、比較、
0:53:25	表の 22 ページをお願いします。
0:53:35	22 の 6 ポツ 1 配管強度への影響についての部分ですけれどもこちらの、以前はSs機能維持、
0:53:42	設計というふうな記載表現になっておりましたけれども、
0:53:47	耐震Sクラス設計していることに追記、記載を修正しております。
0:53:52	続きまして、No.2 コメントNo. 24 の表 4-2 について、備考欄に記載している評価条件の増に関する説明を追記することということで、
0:54:04	こちら、11 ページ目をお願いします。
0:54:06	比較表の 11 ページをお願いします。
0:54:09	目標の 11 ページ、表 4-2 の備考欄に
0:54:14	評価条件の層位といたしまして、制御棒照射量性制限値及び中性子フラックスの違いにより、照射期間が異なっている。また、貯蔵本数の内訳は表の 3 の方に記載しております。
0:54:27	旨を記載し、追記しております。
0:54:33	続きましてコメントNo. 25、配管破断によるの配管について説明すること。
0:54:40	こちら比較表の 19 ページをお願いします。
0:54:45	20 コメントをいただいたのが 20 ページになりますので 20 まず 20 ページのほうで説明させていただき、
0:54:52	こちら 20 ページの一番下のポツの黄色ハッチングの部分が配管破断による通常水位からの水位低下というふうな記載で、どの、どこの配管のことなのかというのがちょっとわかりにくいというご指摘でございましたので、
0:55:04	具体的に燃料プール冷却系配管の破断であるということで追記をしております。同様の表現について 19 ページの部分についても、
0:55:14	(2)の燃料プールにおける水必要遮へい厚確保の評価の部分とその下の第 2、二つ目のパラグラフ、
0:55:21	のところにも反映をしております。
0:55:27	的事項に関する米、
0:55:29	は、反映事項については以上になりまして、続きまして、記載の適正化。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:35	部分についてご説明いたします。
0:55:42	健康プラントとの比較表の
0:55:44	6 ページ。
0:55:46	をお願いします。
0:55:50	6 ページ、上の方の 3 ポツ 1、3 ポツ 1 ポツ 1 魚住燃料の評価条件の貯蔵容量分についてのかっこ括弧の中の黄色ハッチングで、
0:56:01	貯蔵容量の体制について 3518 体、
0:56:07	を追記して、
0:56:08	追記いたしました。
0:56:11	先行プラントとの記載に合わせて線記載を追記しております。
0:56:15	また同じ 6 ページの右の備考欄に、
0:56:18	こちら初動要領の相違でありますとか、その下の(3)、
0:56:23	少済み燃料有効部の体積について相違している部分ということについて
0:56:28	期待を
0:56:29	運用について記載を追記しております。
0:56:35	また同じ 6 ページの備考欄の紙三つ目のポツ、
0:56:40	評価対象の相違の部分の記載ですが、こちらのシューズ実
0:56:47	制御棒貯蔵ラックを評価の対象としていない理由について、ちょっと記載を適正化しております。見直しております。もともとが
0:56:57	使用済み燃料の影響が他の
0:57:00	使用済み燃料とかハンガハンガーの影響で包絡されるというふうな表現なっておりますが、包絡されるというよりはもうこちらの方でした支配的であるということであってちょっと記載を見直しております。
0:57:13	続きまして比較表の 8 ページをお願いします。
0:57:21	8 ページ、4 ポツ 1 使用済み燃料の線源共同の下から 3 行目の熱出力、4.35 メガワットの部分、もともと薬がついておりましたが、八鍬なし。
0:57:32	新しいということで誤記として修正をしております。
0:57:38	続きまして、比較表の 9 ページをお願いします。
0:57:42	9 ページの
0:57:44	備考欄に、表 4-1 の処理済み燃料の、
0:57:49	電源共同の評価結果の相違ということで、そういう理由を追記しております。
0:57:56	1、
0:58:00	続きまして比較表の
0:58:04	ちょっと複数ページになるんですけども 14 ページ。
0:58:08	例えば 14 ページの、用語の統一になるんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:13	燃料取り燃料取替機床面の評価ティンとして設定している燃料取替機、
0:58:20	台車床の部分の記載についてもともと床面というふうな記載で、
0:58:24	になっていたんですけれども、ちょっと記載を、
0:58:27	有効性評価所の表現に統一するということで、修正をして化しております。
0:58:32	修正しております。
0:58:35	同様の修正を、比較表の 14 ページの他にも 18 ページ 19 ページに反映をしております。
0:58:45	続きまして比較表の 19 ページをお願いします。
0:58:54	19 ページの一番下の部分に、評価結果の相違について東海林との相違理由について追記しております。
0:59:04	続きまして比較表の 21 ページをお願いします。
0:59:11	21 ページの
0:59:14	下の方にある図 5-5、サイフォンブレイク配管の設置位置、
0:59:18	について、ちょっとズーを、の、
0:59:21	表現を見直し、見直しております。
0:59:24	まず、下の方にあります判例ですが、点線の丸、丸が示している。
0:59:30	内容が、以前はサイフォンブレイク配管設置場所ということだったんですけれども、ちょっとわかりにくいということで、設置場所だとちょっと配管が設置、取り付けられてる場所の方の、いうふうにちょっとイメージしています。
0:59:43	可能性もありますので、そうではなくてここで言いたいのはサイフォンブレイクの配管の吸気位置がプールの上、上にありますということで、そのように表現を修正しております。また、
0:59:54	図中にサイフォンブレイク配管を記載しております
0:59:58	上の図の 5-4 の図と、対応したような形に修正しております。
1:00:08	続きまして補足説明資料、
1:00:11	NS2 の 007 階 2 の通しページ 88 をお願いします。
1:00:29	こちら 88 ページの図 1-3 についても先ほど比較表の方で説明しましたものと同じ図、サイフォンブレイク配管の設置場所について図の
1:00:40	図を修正しております。あと、申し訳ございません。
1:00:44	規制課リスト。
1:00:46	の、48 番のちょっと、
1:00:49	記載にちょっと誤りがありまして、先ほどのナンバー48 のところの、図 5、一番下のポツで図 5、5-5 注 2 っていうふうにありますけどもこちら、1-3 の、
1:01:00	誤りでございます。申し訳ありません。
1:01:04	続きましてと同じ補足説明資料の中で説明書を適正化しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:12	ページ番号としては 91 ページ。
1:01:17	等にちょっと使われておったんですけども、使用済み燃料有効部長丹でありますとか、燃料有効長町歩というふうな記載がありましたので、
1:01:27	燃料棒有効長部という記載に記載を統一、表現を統一しております。
1:01:34	同様の修正を 9192、93、9697 ページの
1:01:40	本文及び図ん中にも反映しております。
1:01:45	続きます
1:01:52	補足説明資料の 92 ページをお願いします。こちらで設備名称の統一ということで
1:01:57	燃料、
1:01:58	燃料取替機台車床に表現を統一しております。付則説明資料の中で 93 ページ 99 ページ目にも同様の保険がありましたので、
1:02:08	修正しております。
1:02:10	補足説明資料の 99 ページをお願いします。
1:02:15	こちら 99 ページの、
1:02:17	中ほどここでというふうにしてあるところの、勝瑞燃料集合体 1 体当たりの出力、こちらちょっと誤記でもともと 4、4.4 メガワットというふうにして書いてございましたが、
1:02:27	正しくは 4.35 メガワットということで記載を修正しております。
1:02:34	また同じ 99 ページで下の方にある表 5-1 の文献値の中に、
1:02:41	注記の米印、* 1 に追記しまして、
1:02:47	比較表というか本体側の式サイトと同様の表現になるようにしております。
1:02:57	続きます。補足説明資料の 101 ページをお願いします。
1:03:03	こちら、こちらで本体側の資料との記載の整合ということで、文献の名称の後に文献を、
1:03:12	参照していると、表の名前と内挿していることを追記しております。
1:03:18	適正化場所は、以上になります。ご説明以上になります。
1:03:28	規制庁のヨシザキ説明ありがとうございます。
1:03:32	さっき誤記があったところ 48 番の適正化のところ、
1:03:39	図 1-3 っていうのは、これは補足説明の
1:03:44	水準 3。
1:03:48	よかったですよ。
1:03:50	中国電力のフジキですはい。その通りでござい。もともとちょっと 5-5 というのが本体側の資料の名称をそのままずっと記載してしまっておったのですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:01	補足説明資料の中では、図 1-3 が正しいので、1-3 に修正をさせていただきたいと思います。
1:04:08	あと、補足説明資料の中では、正しく 1-3 というふうに記載されておりますこの適正化率の中だけでの動きでございます。
1:04:14	以上です。
1:04:16	規制庁吉崎です。了解します。それで 1-3 の図、88 ページの、もう 1 個何だ、名称を変えたところでサイフォンブレイク配管吸気位置、
1:04:29	だここの丸のところは救急 1D、ここ、
1:04:34	こっから 9 行数っていう、そういう理解だっけ。
1:04:40	中国電力のフジキですはいその通りでございます、こちらのちょっとここ、補足説明書の方断面図がちょっとないんですが
1:04:50	1 個前のページ 87 ページの方に見ていただきますと、図 1-2 の方に概要図がありましてその断面のサイフォンブレイク配管の旧キー能高さ、
1:05:00	のところまで水位が下がりますと自動的にそのサイフォン現象が解除されて、そこでサイフォン現象による水位の低下は止まって、そのあと、水頭差では戻り配管の
1:05:14	管、下面の水平部るところのところまでは水位が下がってそこで自動的に流出がとまるというそういう設計になっております。以上です。
1:05:25	はい。規制庁岩瀬ですよくわかりました。
1:05:29	そこで空気が入ってそこが下がると、サイフォンブレイクするということで了解しました。ちょっとコメントのほうに戻りまして、
1:05:37	難波が、
1:05:41	10 番から、
1:05:54	本当なんか 13 番のこの 2 炉心分のエリアとする旨を、
1:06:01	追記しましたっていうのがあるんですけど、これは日本新聞のなんだ、エリアは図示されてい。
1:06:07	いたんでしたか、ちょっとせ。
1:06:10	説明しております。
1:06:16	中国電力ミナミダテで数値、新納新聞のエリア、
1:06:22	につきましては、
1:06:25	補足説明資料の 74 ページ。
1:06:31	に、なるんですけどもページ番号で言うと別の 1-9、
1:06:36	というページになります。
1:06:39	こちらに
1:06:41	燃料プールスプレイ時の分布で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:47	高温燃料域、
1:06:50	の範囲を、今回追記しているんですけども、その中身に入っている部分につきましては燃料保管できるエリアになっております。こちらにつきまして、
1:07:00	具体的な範囲につきましては、表の 1-4 の方に、3.6 号炉新聞確保できているというところ書いているものになっております。また、
1:07:10	市松模様につきましては、こちら補足説明資料のですね、
1:07:17	64 ページ、通し、通し番号の 64 ページ、
1:07:23	個別のページで言うと 6 ページになるんですけども、こちらに市松模様につきましてもこのような形で配置するということが記載しております。
1:07:33	以上です。
1:07:45	地域において、今の補足説明 74 ページは、
1:07:50	これはマスキング図、そのコーン燃料域と低温療育が、色で分かれて、
1:08:00	ちょっと 2 炉心部分とこの高年領域も、
1:08:05	これスプレイをしたところの範囲なんで、
1:08:07	要は、どこが、
1:08:09	移動新聞なのかだとどこが高温領域の保管エリアなのか。
1:08:16	ちょっとわからないんですけども。
1:08:19	ここはどうなってる。
1:08:23	中国電力のミナミダテです。今回図の 1-9 の方に凡例として、黒線の方、後年領域というように引っ張っているんですけども、
1:08:34	この黒線の中が、高温燃料域となっておりますここに取り出した直後の燃料を受ける場所というようになっております。
1:08:45	具体的にこの中のどこを 2 炉心分として確保するというところは決め手はないところになるんですけども、この中、
1:08:55	この中に、燃料につきましては、この中の範囲で市松模様の形にして、配置するというような設計としておりますが、運用としております。以上です。
1:09:23	規制庁の吉崎です説明はわかったんですけど今緑の範囲とその余震分の範囲の大小関係がちょっとわからなくて、
1:09:33	その何ですか。
1:09:37	大分この緑の、
1:09:40	中にちゃんと、
1:09:43	市松模様ではいい。
1:09:45	というところが知りたいんですけど、今、今の御説明のところの、
1:09:50	配置図みたいのが、
1:09:53	あればわかりやすいんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:56	そういう、
1:09:57	何か簡単な。
1:10:00	配置図じゃないですけどこの高温領域の、
1:10:03	緑の中に入るといところが、ご説明いただきたいんですけども。
1:10:09	よろしいでしょうか。
1:10:11	中国電力のミナミダテです。この緑の領域の中に一つ内側に国労
1:10:19	で囲ってる部分が、ここが
1:10:21	高年領域として取り出し直後の燃料を受ける。
1:10:25	場所と設定しているものですが、こちらの範囲につきましては、表 1-4 に、3.6 号炉新聞確保できてると。
1:10:35	というような記載をしております。この 3.6 号炉新聞ありますので、もちろん 2 炉心分以上確保できていると、そういうところでご確認いただけるかと思うんですが、いかがでしょうか。
1:10:49	規制庁の井関です。表表のナンバーでしたっけ、表 1 の。
1:10:55	補足説明資料の 74 ページの表 1-4 になっております。この上のところですね、いつまで、これ使ってる 5 人分、これが緑のところ、
1:11:08	なるほどなるほどこの、
1:11:10	中に入信分を確保するという、
1:11:14	はあ。
1:11:17	中国電力ミナミダテですご理解の通りです。
1:11:23	ちょっと文章でこの 3.6 号炉新聞の中の児童新聞の範囲に、I II、
1:11:29	多いですっけ。
1:11:30	を配置するっていうふうに、
1:11:32	もしわかりやすく限ってもらえると、
1:11:35	ありがたいんですけども可能でしょうか。
1:11:40	中国電力ミナミダテです。
1:11:43	こちらの試験結果の方で 3.6 号炉新聞っていうのは、確認してる部分であるんですけども、こちらの
1:11:52	どうでしょう補足説明資料に追記したら良いかそれとも試験結果間のモックアップの試験結果で 3.6 号炉新聞というのが確保できていることから、2 炉心分以上、
1:12:06	のエリアが確保できているっていうふうに説明書の方に書いた方がよろしい、どちらがよろしいでしょうか。
1:12:26	規制庁の井関

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:28	説明書は2行新聞確保できているそれぞれを担保する上でその補足説明資料に3.65あるのでそのうちの3.65の中に、伊豆新聞が配置するようにしているということで、
1:12:41	補足説明のほうに詳しく書いていただきたいという趣旨ですけども。
1:12:47	それで、
1:12:48	よろしいですか。
1:12:51	中国電力ミナミダテです。ありがとうございます承知いたしました。
1:13:13	規制庁の出席者の
1:13:15	ちょっと再確認なんですけど1-9の図のこのいびつな形の緑の範囲。
1:13:21	これがだから3.6号炉新聞で、その内側に入信分を配置するというので、
1:13:29	形はちょっと何か秘密になるんですけども、それで横に長く、あと縦に、よく新聞を配置すると。
1:13:39	そういうふうを考えているってことでよろしいですか。
1:13:46	中国電力ミナミダテです。その通りです。ただ1点ちょっと補足させていただきますと、この緑の部分といいますのは、燃料域の必要スプレイ流量を満足する範囲でありまして、
1:13:58	実際に弊社としまして高温燃料域、要は高温燃料を置けるスペースとして考えているのはその内側の黒の太線が、
1:14:10	あると思うんですけどその中身というようになっております。以上です。
1:14:52	規制庁の磯です苦勞の範囲と緑の範囲は、全くイコールじゃなくてっていうということで、その内側に黒があるということで理解をしました。
1:15:05	中国電力ミナミダテスご理解の通りです。
1:15:39	規制庁の吉崎です16番のコメントの回答で、
1:15:44	プールの壁面まで到達スペースにはね回位から1-9に示すようになっていうものがあるんですけど、
1:15:52	プール水の跳ね返りってのは、
1:15:55	この図でいうと、どこになるのか、説明してますか。
1:16:02	中国電力、ミナミダテです。
1:16:04	この図で言いますと、そうですね
1:16:10	その1-9図の中に、ノズルの配置をしているんですけども、そちらの上の方の
1:16:21	ノズル入ってですねABCDと書いてあるものの、
1:16:26	右から、
1:16:29	右から、そうですね。
1:16:31	右からは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:33	呼吸戸当たりまでにスペーススプレイヘッダの、
1:16:39	が、
1:16:41	ありますんでこの絵は折り返し上方向に向いてるノズルになりますので、こちらがTTで田崎ちょうど
1:16:54	ちょっと図、図の中に名前は書いてないんですけども、キャスク置き場のスペースのところは少しコの字型に切っているのがわかるかと思うんですけども、
1:17:04	そのキャスク置き場の上の図中の上のところですねこの、
1:17:08	境目のあたりが緑が濃くなっているかというふうに見えるんですけどもそこに、がはね返って流量として多くなっている部分というように考えております。
1:17:19	以上です。
1:17:25	規制庁の吉崎です今の説明でわかりました。ちょっとキャスク置きバーのちょっとマスクングの中の図で、何も書いてないんでちょっとそこ、
1:17:35	脚色置き場ということ明確にして欲しいというのと今のだからエノオがいろんなABCDってあっているような角度があって、
1:17:46	そういう、上抜きであれば、
1:17:48	あるから、跳ね返りということで、もう少し
1:17:55	括弧書きでもいいんですけど、それによって、
1:17:59	はね返り、
1:18:01	が、か。
1:18:03	になってると。
1:18:04	いう、補足を追記していただきたいんですけども。
1:18:09	よろしいでしょうか。
1:18:12	中国電力ミナミダテです。キャスク置き場を記載する件については承知いたしました。あと、こののズルーの向きとかのことにつきましてはちょっとどこまで
1:18:25	公開できる部分かっていうのはメーカーにも相談いたしまして書ける部分で詳細に記載したいと考えております。以上です。
1:18:35	規制庁の吉崎ですマスクングのこの図の中でもいいんで、
1:18:38	このズーマスクングなんで、その中であれば、何かコメントでも書けそうなんで、
1:18:44	注いまいろいろメーカーとも相談して、検討いただきたいと思います。
1:18:51	中国電力ミナミダテです承知いたしました。
1:19:17	規制庁の吉崎ですけど。
1:19:19	大井。
1:19:21	コメントNo.の 17 番の類型化の②のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:27	②の説明をもうちょっと、もう一度いただきたいんですけど。
1:19:38	中国電力ミナミダテです。
1:19:43	少々お待ちください。
1:19:51	中国電力藤木です吉崎さんの言われている②の説明というのは水深の遮へい能力の方の
1:20:00	色で支配的であるというふうに記載修正したその部分という理解でよろしいでしょうか。
1:20:05	規制庁の井関です。その通りです良い経過一覧表の中の②についてです。
1:20:13	中国電力藤倉はい、わかりました。こちら、比較表の6ページ目に、ちょっと記載している部分の、
1:20:21	そういう類型化したものになりまして、こちらのもともともともといえますかちょっとマスキング、あれなんです東海第2の差異の中で、ちょっと評価対象としている。
1:20:32	項目がちょっと当社より多い部分がありましてそちらについて、当社で評価し、して、評価対象外としている理由として記載したのになります。で、記載している内容が制御棒ちょうど西側に5ヶ所、痴呆制御棒貯蔵ラックは、
1:20:47	プール底部の保管であり、
1:20:50	その他の評価対象としている制御棒貯蔵ハンガーでありますとかあと、使用済み燃料というものの影響、こちらが
1:20:59	ほぼほぼ、
1:21:01	支配的であるため、評価対象としていないというふうな記載にちょっと見直したものでございます。もともとの記載が包絡されるという記載でありましたので、それだとちょっと
1:21:12	ちょっと適切ではないなということで値、記載を直しております。
1:21:16	見直しとなります以上です。
1:21:24	成長の吉武亜子0確か配置図も先ほど、
1:21:28	追加されてて、要は何か、
1:21:32	外側に置いてあって、修繕料や食うと同じ推進、一番下に置いてあるという説明。
1:21:40	だったと思うんですけど。
1:21:43	適正カーの資料で、
1:21:45	何だっけ。
1:21:46	適正化の30
1:21:53	適正が30番で島貫において使用済み年貯蔵制御棒貯蔵だ。
1:21:59	これはさっきの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:02	ことと同じこと言って、
1:22:04	それ以外ですか、使用済み制御棒貯蔵ラックというのと、
1:22:08	もう1個、
1:22:10	制御棒集落ってのは一生の意味ですか。
1:22:15	中国電力藤木です。はい。申し上げますちょっと。
1:22:18	名称の統一が図れてなかったことを申し訳ありません。同じものを指しておりまして制御棒貯蔵ラック、
1:22:26	評価対象としない理由を、
1:22:29	適正したことについて記載しておるものに、
1:22:31	ものでございます。以上です。
1:22:49	規制庁井関です。了解しました。補足説明資料の何ページだっけ先ほどの配置図、
1:22:56	これか。
1:22:57	5ページ。
1:23:00	そうですね。通し番号で91ページにあります1億円カフジキです。
1:23:03	ここでだから沈み、制御棒ちょうドラックが、上の図だと
1:23:11	まだ、
1:23:12	端っこの方によって、
1:23:13	主に燃料貯蔵ラックの方が、
1:23:18	空間的には、支配的であるからそっちの方、
1:23:22	制御棒貯蔵ハンガーも端っこにあるけどそっちと、それと制御物ドラックではなくて、使用済み燃料貯蔵ラック、
1:23:31	で評価してる。
1:23:33	嘘。そういう理解でよろしい。
1:23:37	6電カフジキはいご理解の通りでございまして、同じ水推進ス水プールの底部であったら、燃料法の方が影響が大きいですし、
1:23:47	同じ線源強度の使用済み制御棒だったら、より水深の浅い制御棒貯蔵ハンガーの方が影響が大きいということで、こちらについては、無視ができるということで、
1:23:58	評価対象外としております。以上です。
1:24:10	規制庁井関です。確認ですけど制御棒貯蔵ハンガーは、
1:24:15	少し上の方にあるけども、除外する理由は、
1:24:21	何でしたか説明してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:24	中国電力フジキさ、すいません内、説明が終わりにして申し訳ありません制御棒貯蔵ハンガーについては評価対象としておりまして、こちらについてははい線量評価。
1:24:35	を対象としております。それと緑のね、使用済み燃料貯蔵ラックについても評価対象としております。対象外としているのがこのプール底部にある制御棒貯蔵ラック、
1:24:46	ここ部分になります。点線に囲ってるピンクの部分になります。以上です。
1:24:52	規制庁ヨシザキが了解しましたの。
1:24:54	少し考えが違った。そうですね。
1:24:57	ハンガーと周辺条約で評価するってことで了解しました。少々わかり、
1:25:19	規制庁のヨシツグです今
1:25:22	何だ、②の理由って、
1:25:24	どこかに書いてあるんでしたっけ。
1:25:32	中国電力フジキさんの理由と、
1:25:36	そうですね理由自体はちょっと記載してはいないのですが、
1:25:45	そうですね。
1:25:49	少々お待ちください。
1:25:51	比較表の、ちょっと18ページに、と水深の遮へい厚線量率の関係を示した図がありますのでそちらでちょっとご説明したいと思うんですが、
1:26:02	18ページ目、図5-3ですね、燃料プールの推進、市水遮へい圧と線量率でございまして、こちらです。
1:26:13	横軸が燃料、
1:26:17	燃料プールの水位でして右側にある通常水位、7.2メートルのところから左に行くに従って浅くなって行って、だんだん露出し始めるというふうなグラフになっていて左側の縦軸が線量率になっております。
1:26:31	こちらで基本的にその使用済み制御棒の影響というのは、
1:26:39	ちょっとグラフからちょっと中央図見せ業務の露出開始ってというのが良い、4メートルを少し聞いたところがあるんですけどもこの辺りで、影響としては止まっておりまして、
1:26:50	これ以降の燃料の影響というのが左肩に上がっていつている通り、続けた影響が大きいということで、制御棒のそもそものその線源の強度とか放射性物の密度と、燃料自体にかなり
1:27:04	大きな差がありますので、同じ水位であれば、燃料の方だけ考慮していれば制御棒の影響というのは完全にほぼ
1:27:13	無視できる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:14	ということで、
1:27:15	読み取れるふうになっております。
1:27:19	説明になっておりますでしょうか。お願いします。
1:27:55	規制庁の井関です。やっぱりその、その言葉として説明をして欲しいんです。
1:28:07	制御棒貯蔵ラックについては
1:28:11	こういう、
1:28:13	制御棒貯蔵ハンガーと使用済み燃料の影響が支配的。
1:28:19	だから、除外していいよというのを、補足のほうに、先ほどの、
1:28:25	選定のところでもいいし、適切なところに、
1:28:30	今のこの
1:28:32	②のような、
1:28:33	いうを、
1:28:35	追記していただきたいんですけども。
1:28:38	よろしいでしょうか。
1:28:39	中国電力の藤木です。承知しました補足説明資料でちょっと今イメージしましたのは
1:28:45	通し番号 91 ページ目に、燃料プールの概略図で制御棒貯蔵ラックの位置を示しておりますので、このこの辺りにはい。貯蔵ラックについて、
1:28:56	その他の影響が支配的であるため、評価対象外とするっていうふうな差異を追記したいと思っております。
1:29:03	以上です。
1:29:05	規制庁ヨシザキですはい。よろしくお願いします。
1:29:17	規制庁ヨシザキですけど、16 番の、この戻り配管の
1:29:22	この修正しているところとしてないところがあったんですけども、国交の使い分けを説明して欲しいです。
1:29:46	中国電力藤木です。ちょっと申しわけありちょっと確認させていただきたいんですけど戻り配管、江藤のどここの記載でございますでしょうか。
1:29:58	比較表の 19 ページ、
1:30:01	電力歴もドイは 1 館、
1:30:04	戻り入ってると。
1:30:06	熱冷却系配管、これは檀だから破断のところは変えてないっていうそういうことですかね。
1:30:16	はい。
1:30:18	はい、ご理解の通りでございまして戻りはい。麻生そうですね。プールに水を注水する部分、部分について戻り配管ということでここで言ってる配管、燃料プ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ール冷却系配管ってのはその配管がそれより下の部分でも破断することも想定している。
1:30:33	ような表現ですので戻り配管というような記載にはしていないということがございます。以上です。
1:30:42	清町の吉池です。了解しました。ちなみになんですけどもドリー配管を
1:30:49	追加したのは、この
1:30:51	2ヶ所、
1:31:01	中国電力フジキへと戻り配管に統一したのがですね比較表でいうと、まず5ページ。
1:31:08	小俣のところ、
1:31:09	19ページ。
1:31:13	の一番、
1:31:15	上のパラグラフの、また、医師燃料プール冷却系戻り配管のところと21ページの図中の中の、
1:31:23	方言ですね、図5-4。
1:31:25	と、
1:31:26	ものを、
1:31:27	この5-4ですね。
1:31:31	22ページの
1:31:34	六方6.1.1、
1:31:36	のところの、
1:31:37	記載と、24ページの16-1の中の表現の中の表現について記載を修正しております。以上です。
1:31:49	規制庁の伊勢五十鈴様の4は、
1:31:53	ここだから、そっか、図だから、タイトルだけ発注してって、図の中の、
1:32:00	戻りは、燃料プール冷却系戻り配管は黄色ハッチしてないってことですね。
1:32:06	色電力フジキあ、はいすいませんこちらは点線の位置とかもちょっと修正してあってですねちょっとなかなか全部黄色ハッチングし表現するというのがちょっと難しかったのでタイトルの方に、ハッチングという形で示させていただいております。
1:32:23	抑止しましょう。
1:33:15	規制庁の石崎ですけども、19番のコメントで、
1:33:20	これ先ほどの図の中5-4の中の、
1:33:25	破線のところですかね、ここ、ここが今までなかったけども追加したってそういうことでいいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:34	中国電力フジイケースえっとですね図 5-4 の中のはいおっしゃる。
1:33:38	ご認識いただいている点線なんですけどもこちらがですね、1 がちょっと間違っておりますけれども、この右の方にある燃料プール冷却系戻り配管のちょっとジョウタン
1:33:48	水平部の所、状態の面と合っておりますまして実際は水頭圧によって、ここの水位までサイフォンブレーカサイフォン現象が解除された後も水位低下してしまいますので、
1:33:59	プールの水位低下位置としてはこちらが正しいということ
1:34:04	記載を修正してきたものになります。以上です。
1:34:09	規制庁の井関です。了解しました配管の絵を明日した。
1:34:14	ウタガワというかした面に合わせたってということで、了解しました。
1:34:31	成長のヨシザキですけど、21 ページの、
1:34:35	自己遮へい効果、
1:34:41	について、ちょっともう 1 回説明してます。自己遮へい出向かって、何を言っているのか説明してますか。
1:34:49	中国電力のフジキの比較表の 6 ページの記載についてです。説明させていただきます。
1:34:57	投資済み制御棒については
1:35:01	線源として、放射性放射線を出す線源としての
1:35:06	効果といえますか、いえますかはい。効果についても
1:35:12	考慮してるんですけども、その他にも制御棒そのものが持つ、その密度という密度によって放射線を遮へいする効果がありましてそれを自己遮へい効果というふうに呼んでいるんですけども、
1:35:24	そちらについては保守的に評価するため、
1:35:28	制御棒の本来の密度ではなくて、
1:35:32	背は遮へい能力が構造部材よりも小さい水。
1:35:35	そして、とみなして、遮へい計算上は
1:35:39	小さい密度で評価しているというそういう表現、そういう、
1:35:42	内容になります。
1:35:44	以上です。
1:35:48	規制庁のヨシツグです。
1:35:51	理解しました。
1:35:52	ここの記載は、もともとは、
1:35:55	最初はどうだったんでしたっけ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:00	中国電力フジキサイトウちょっと、他社さんの記載になるんですけどもちょっと読み上げは遠慮しますけども、この黄色の部分の記載が全くない状態。
1:36:11	ございました。
1:36:15	以上です。
1:36:21	規制庁の義崎です。全くなかったのをその理由を、保守的な、何か言う構造材料の小さい理由を修飾したということで、
1:36:34	そういう、
1:36:36	説明になったということで理解しました。
1:37:00	規制庁井関です
1:37:02	ちょっとなんか制御棒の密度って何か、
1:37:06	何を言ってるのかと最初思って、さっきの先ほどの説明をしてるんですけども、
1:37:15	先ほどの説明だとそういうことだというのがわかった。
1:37:18	ちょっと日本語としてまた、
1:37:22	何か指摘されるかもしれないけどその時はそのときに、
1:37:25	今回はこれで、
1:37:28	とりあえず、これで
1:37:31	凝灰一時了解しましたちょっとコメントした人が今ちょっと不在なので、とりあえず、
1:37:37	これでいきたいと。
1:38:03	規制庁の井関ですけど、
1:38:06	du流量の単位が、
1:38:10	以前は立米だったけど流パワーに修正ってのがあったんですけど、
1:38:14	これはここだけでしたっけ何。
1:38:17	何ヶ所もある。
1:38:19	のか。
1:38:21	なんですか。
1:38:22	水平展開したのか。
1:38:24	説明してもらいます。
1:38:29	中国電力ミナミダテです。
1:38:31	今回修正した箇所がですね、補足説明資料の
1:38:39	す。
1:38:41	補足説明資料の、
1:38:46	68 ページに、通し番号 68 ページのところになってるんですけども、こちらにつきましては、
1:38:56	可搬型スプレイングルの試験の結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:01	どれくらいプールに水が入るかというようなところを示したものでして、こちらにつきましては
1:39:09	単位時間あたりにどれくらい入る水が入るかっていうところが説明の趣旨の部分になりますので、こちらにつきましてはパワー
1:39:18	をつけて単位の方を修正しております。他の箇所につきましては、特段説明したい趣旨とずれているところがないのかなというところで他には、特に修正した箇所はありません。以上です。
1:39:36	成長様式です単なる誤記ではないってことですね。
1:39:41	目的に合わせて単位を修正したってことで、理解しましたそういったところが同じなところがあれば、適宜見てくださいということなんで、
1:39:51	よろしくお願いします。
1:39:55	中国電力ミナミダテです承知いたしました。
1:40:06	あ、規制庁のヨシザキです適正カーのリストなんですけども、これだから、
1:40:12	中身がでないという理解でいいですかね誤記だとか括弧だとか、
1:40:18	あと点点だとカー資料番号をずらしたとか、
1:40:22	そういう理解でよろしかったですか。
1:40:33	中国電力ミナミダテです。はい。基本的にはそのような
1:40:37	体裁であったりとか動きであったりとかそのような修正の箇所になっております。以上です。
1:40:45	規制庁の吉崎です。ちなみに
1:40:48	適正カーの確認って
1:40:52	中国電力さんは、
1:40:54	これ値適正化じゃなくて、中身だよみたいな。
1:40:58	そういうチェックってされてるんですか。
1:41:09	中国電力の内藤です。
1:41:11	適正化箇所の内容につきましては、
1:41:18	基本的には誤記に関するものとか、記載をより適正化するという内容が多いんですが中には内容も含むものもあるという認識です。その場合は
1:41:31	そこに変更理由も書きまして、しっかり、
1:41:36	ご説明させていただきたいと考えております。以上です。
1:41:43	規制庁のヨシツグですちょっと心配しているのは中身のある、
1:41:48	安定性適正化されちゃう等、
1:41:52	我々が何ていうん見てないところで変わってしまうんで、
1:42:00	そういうものがあればちょっと
1:42:05	徳田氏じゃないですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:07	理由もそうなんですけどね。
1:42:12	しっかり説明して欲しいか。
1:42:15	何かコメントリストに追加でもいいんですけど事業者が発見したものでこれはこうですみたいな。
1:42:23	ちょっと
1:42:25	少し
1:42:27	こちらもしっかり見ますけど、
1:42:29	適正かついっぱいあるので、
1:42:32	やっぱり、
1:42:34	中身を見る、そのグレードが下がってしまうんですね。
1:42:38	ですからその中にその中身のある健康があると、ちょっとこちらも監視ができ上がってしまうんで、
1:42:44	事業者の方からも、
1:42:48	積極的に説明を
1:42:51	していただきたいと思います。
1:42:54	以上です。
1:42:56	中国電力の内藤です。承知いたしました。
1:43:00	内容に係る変更につきましては、その他の修正等の中に埋もれないように、
1:43:08	したいと思います。説明をしっかりさせていただければと思います。以上です。
1:43:14	はい。規制庁の井関ですよろしくお願いします。
1:43:18	少々お待ちください。
1:43:31	規制庁の吉崎です。とりあえず甲斐コメント回答は、お詫びなんですけど。
1:43:39	畔行動はどれぐらいで、
1:43:41	時間を割りますか。
1:43:46	中国電力の板井井川です。加瀬講堂の説明については、
1:43:53	10分で
1:43:54	あれば説明。
1:43:56	可能です。以上です。
1:44:01	成長ヨシツグそれではよろしくお願いします。
1:44:07	中国電力の伊田井川です。それでは解析コードの説明をさせていただきます。
1:44:13	資料ですけどもN-S2の補-031。
1:44:18	の補足説明資料をご覧ください。
1:44:22	通しページの1ページに、
1:44:24	2ポツ、補足説明資料、
1:44:28	解析コードリストの分類の構成を示してございます。6種類ありまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:34	一番として耐震強度以外のコードリスト、これが主に説明書関係のコードリストになります。
1:44:41	2番としまして耐震関係のコードリスト。
1:44:46	ナンバー3として、強度、
1:44:49	計算書に関する行動リスト。
1:44:51	これは資料ナンバー4として、バージョンに差分があるリスト。
1:44:57	資料ナンバー5として、
1:45:00	地方実績のないコードリスト。
1:45:02	これは資料No. 6としまして、補足説明資料において使用しているコードリスト。
1:45:09	で構成しております。
1:45:13	もう1ページの2ページをご覧ください。
1:45:16	ここで資料の訂正がございます。
1:45:19	図1の区分フロー。
1:45:22	その下に表がございますけども、
1:45:25	この表のタイトルが抜けてございました。正しくは表1、
1:45:30	区分フローの結果がえられた作成。
1:45:33	られた作成する添付書類等、
1:45:36	が追加となります。申し訳ございませんでした。
1:45:41	図1に区分フローを示しておりますけども、
1:45:45	区分AからEの分類ごとに、
1:45:49	表の1に示す通り、添付書類また補足説明資料に添付する。
1:45:54	解析コード概要の内容を整理してございます。
1:45:58	今回準備しました各年説明書に関する解析行動。
1:46:03	4件についてですけども、
1:46:06	これらすべて工認添付書類、
1:46:09	この解析コードを使用しており、
1:46:12	使用実績がありまして、
1:46:15	先行審査プラントのとのバージョンの差分もないため、
1:46:20	区分A、
1:46:22	という整理になります。
1:46:24	区分Aのため添付書類としては、解析コードの概要、
1:46:29	のみを添付しております。
1:46:32	治療番号N-S2の、
1:46:34	. 5008をご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:39	スケールのコード概要。
1:46:42	になりますけども、
1:46:47	通しページの 2 ページ、
1:46:50	ご覧ください。
1:46:53	1 ポツ 1 の使用状況一覧ということで、
1:46:57	こちらで、
1:46:58	SCALEコードを使用している添付書類、
1:47:02	コードのバージョンを記載してございます。
1:47:08	3 ページをご覧ください。
1:47:15	今回は、先行プラント、
1:47:17	で実績があるということで、2 ポツということで解析コードの概要、
1:47:23	を示して記載しております。
1:47:29	今回のように、コード概要、
1:47:32	バージョンの差分がない場合は、こういった解析コード概要の表のみになって ございます。
1:47:42	あと、使用実績がない場合、
1:47:47	についてはこれに加えて、
1:47:52	コードの解析手法。
1:47:54	であったり検証及び妥当性確認の詳細について、
1:47:58	説明してございます。
1:48:02	補足説明資料の方に戻っていただいて、
1:48:06	通しページの 2 ページ、
1:48:10	ですけども、
1:48:12	表の 1、
1:48:15	Aですけども、
1:48:17	区分Aの場合、
1:48:21	表 1 の右側に示す通り、
1:48:24	補足説明資料については解析コードリスト。
1:48:29	のみに使用実績と整理しております。
1:48:32	通しページの 3 ページをご覧ください。
1:48:38	これが今回説明書で使用している行動を抜粋したものとなります。
1:48:45	左側から、
1:48:51	順に説明しますけども、まずナンバー9 のスケール。
1:48:56	ですけども、製造元はオークリッジ国立研究所、
1:49:01	今回使用したバージョン阿南バージョン 6 となります。6.0 となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:07	最新のバージョンは 6.2. 4 ということで、最新バージョンとの差があるため、
1:49:13	途中恐怖して、
1:49:16	このリストの一番下あしたというか、
1:49:19	注記の欄がありますけども、
1:49:22	最新バージョンへの改定において、
1:49:25	計算結果に大きな影響を与える不具合に伴う改定が行われてないことを確認した。
1:49:32	ということを確認しまして注記をつけてございます。
1:49:37	対象設備としては、
1:49:39	燃料取扱設備、
1:49:42	新燃料貯蔵設備及び使用済み燃料貯蔵設備、
1:49:47	使用目的としましては、使用済み燃料貯蔵設備の未臨界性評価。
1:49:53	となっています。
1:49:55	リスト中盤は、先行プラントの使用実績になってございます。
1:50:04	リスト右側ですけども、
1:50:07	関連添付書類ということをし、
1:50:10	ということで、
1:50:12	資料番号 6-1-3 に、
1:50:15	資料名称が未臨界の説明書。
1:50:20	記載してございます。
1:50:22	続いてナンバー12 の、
1:50:24	QAD。
1:50:28	ジイジイピースRですけども、
1:50:31	製造元は日本原子力研究開発機構、
1:50:35	使用したバージョンは 1.04、最新バージョンも 1.04 でございます。
1:50:41	対象設備を使用済み燃料貯蔵す。
1:50:45	貯蔵槽、
1:50:46	使用目的は、水深の遮へい計算になります。
1:50:53	真ん中使用実績を飛ばしまして、
1:50:57	金添付書類としては 6-1-3 の子の水深の遮へい能力の説明書になります。
1:51:07	そういつて、
1:51:09	ナンバーの 15、
1:51:12	15 と 16 は一緒ですけども、15 代表して説明します。
1:51:16	オリゲン II。
1:51:18	ですけどもう製造元は米国。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:22	オークリッジ国立研究所、
1:51:25	使用したバージョンは、
1:51:27	バージョン 2.2 で最新のバージョンも、
1:51:30	同じとなります。
1:51:32	対象設備は、
1:51:34	使用済み燃料闘争。
1:51:36	使用目的は、
1:51:39	使用済み燃料と同設備の崩壊熱。
1:51:44	の評価となります。
1:51:47	関連書類としては、
1:51:49	6-1-3-4。
1:51:51	冷却能力の説明書
1:51:55	6-1-3-5。
1:51:58	の遮へい能力の説明書になります。
1:52:03	続いてナンバー28 のはいSAPですけども、製造元は日立製作所。
1:52:08	最初は使用したばあちゃんは、
1:52:12	バージョン 52、
1:52:14	最新バージョンも同じでございます。
1:52:18	対象設備はサイフォンブレイク配管。
1:52:21	主要目的は3次元いう。
1:52:24	元要素法。
1:52:25	による間の、
1:52:28	保有解析。
1:52:30	応力解析になります。
1:52:33	関連添付書類は6-1-3-5 の、
1:52:37	水深の遮へい能力に関する説明書
1:52:41	になります。
1:52:47	今回はバージョン
1:52:49	調査分も、実績もありますので、
1:52:56	普段なかったんですけども、差分がある場合はですね、
1:53:01	その差分の内容、
1:53:04	及び使用実績がない場合は、
1:53:07	解析手法、
1:53:09	やっぱり検証及び妥当性確認。
1:53:12	について、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:13	補足説明資料を用いて、今後、
1:53:16	説明していくことで考えてございます。
1:53:21	計算プログラムの説明については以上です。
1:53:28	規制庁の吉崎です。説明ありがとうございました。
1:53:32	今回は核燃料物質の取扱貯蔵施設に使ってるかチェックコードとしては使用実績もあるし、バージョンも先行と同じものであるということでもまずそういう理解でよろしいかと。
1:53:48	中国電力田川です。はい、ご認識の通りです。
1:53:55	はい。規制庁の吉崎です。わかりましたそれと
1:53:59	何で今後解析コードですね、バージョンの差分があるものだから、
1:54:05	使用実績がない解析コードってのは、
1:54:09	ここを出てくるっていうことで、
1:54:12	理解しておけばよろしいですか。何かバージョンの変更は何か。
1:54:15	説明処理も何かバージョンが異なるっていう差異はあったものがあったと思うんですけど。
1:54:20	実績がないかいレコードRIS等その説明書を使ってるものってあるんですかね。
1:54:29	中国電力の田川です。
1:54:32	使用実績のない構造についてはすべて
1:54:36	全部署で6コードほどございます。
1:54:40	このうち、
1:54:42	1通がですね、リファというもので、ほかアクセスの説明書で使用している構造になります。
1:54:50	えっと他の炉5コードは耐震計算書で使用している構造になります。
1:54:56	また、バージョンの処遇んについては、
1:55:00	前東証の中で、
1:55:02	13個ほどございます。
1:55:06	その中説明書に関するものは、
1:55:11	と。
1:55:12	特定はしてませんが、
1:55:14	多少あるという認識をしています。
1:55:18	以上です。
1:55:21	規制庁の吉崎です。説明はわかりましたちょっと全体がわからなかったんで確認したんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:28	この補足説明の最後の3ページですか、これもいいんですけど全体があつて、今回説明する該当するものが、この四つで、それが実績があるので、
1:55:40	区分ABCでいいか、ABC甲斐まであるんですけど、それをこのなんだ。
1:55:49	3ページの、
1:55:50	コードリストのどっかに書いて、
1:55:53	一覧で示す。
1:55:55	ことは、
1:55:56	でしょうか。
1:56:06	中国電力の田川です。
1:56:09	とですねえ。
1:56:11	指名、
1:56:13	なくはないと思うんですけども、
1:56:17	補足説明資料の2ページの表1、
1:56:21	の中でですね。
1:56:24	区分Cになった、食うBでもいいんですけど、区分Bになった場合は、
1:56:31	19してリストを作ってください。バージョンの差分っていうナンバー4の、
1:56:38	リストと、
1:56:39	解析コードリストってのは1から3まであるんですけど、
1:56:43	それも19した形で記載します-D。
1:56:49	藤。
1:56:52	ちょっと
1:56:53	検討はしていますけども、はい。
1:56:57	ちょっと1回検討して、ちょっと表現できるかちょっと考えたいと思います。以上です。
1:57:35	規制庁のヨシツグです今、資料の修正という区分、ABCDが、このコードでいうとどの区分なのかってのがわかるようにして欲しいというのが、一つコメントと、今後なんですけども、
1:57:50	ただ、バージョンの差分があるもの等、
1:57:53	実績がない解析コードについての、
1:57:56	説明って、どういう計画というか、どういう考えで進めようとしているか説明しますか。
1:58:07	中国電力の水戸肥後です。
1:58:10	基本的には今回のように、個別のヒアリングの中で、その説明書、計算書のアピール行動、
1:58:20	について、この補足説明資料リストを用いて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:25	説明事項、医師会、
1:58:27	ことで考えていますけども、
1:58:30	バージョンの差分、
1:58:32	についてはちょっと今回はコードリストついてませんけども、
1:58:37	そのバージョンの差分の理由をリストに整理してございますので、
1:58:43	そのあたりの説明、
1:58:46	また、使用実績がない場合についても、ちょっとリストのフォーマットが、
1:58:52	違いまして、
1:58:55	藤。
1:58:57	そういったコードのポイントであるとか、妥当性、
1:59:02	確認。
1:59:04	方法等についても、リストに整理してございますので、そちらで説明する形と、
1:59:12	形を考えてございます。
1:59:14	それもちょっとわからないということがございましたら、
1:59:18	実際そのコードの
1:59:22	僕の5シリーズの五十川の方を使いながら、
1:59:27	ご説明することで考えてございます以上です。
1:59:32	規制庁のです。すいません耐震関係の行動ってまとめて説明するというふうに 確か聞いてるんですけども、これいつぐらいの予定かって今わかります。
1:59:45	中国電力の板井側ですちょっと時期についてはまだ調整できてございませ んが、
1:59:50	このリストについては、
1:59:53	第3回補正分を除き、
1:59:57	もうリスト化は済んでますのでうちでも、
2:00:01	説明できる。
2:00:05	お考えでございます。
2:00:07	以上です。
2:00:09	わかりました。ちょっと耐震でも話して、いや万が一そのコードが使えないなん てことは多分ないと思うんですけど、だったら手戻りがあるので、ちょっと早め にやったほうがいいのかとちょっと一瞬思いましたのでちょっと内部でも各相 談してご相談します。
2:00:30	中国電力データベース承知しました。
2:00:38	POS。
2:00:39	規制庁の義崎です他アクセスは一つあると聞いたのは、
2:00:44	それは何関係の評価に使ってるコードなんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:52	中国電力田川です。
2:00:55	少々お待ちください。
2:00:57	リファというコードでして、
2:01:02	対象設備がダクトで使用目的は1次元、うん。
2:01:07	一次元地震応答解析による入力地震動の算定に使ってございます。
2:01:15	もう、
2:01:17	アクセスルートの説明書でございますけども、中身は、
2:01:21	竹井さん。
2:01:24	楽との計算に使ってる。
2:01:28	ものと、はい、推定します。以上です。
2:01:32	規制庁の義崎ですダクト関係一井、地震の入力解析とかって電話があったんですけどこれは保管アクセスのヒアリングやってますけど、
2:01:43	解析行動は変更というか、金貨ないものを使うってのは、
2:01:49	土木側には認識されてる。
2:01:52	でしょうか。
2:02:00	中国全土分ウタガワです。
2:02:02	はい、土木課でも認識は、
2:02:04	して、
2:02:05	います。
2:02:09	失礼いたしました。僕関係っていうのは、
2:02:13	規制庁側の土木関係でしょうか。
2:02:18	もちろん経常収益ですうちの土木関係の審査官は、解析コードがきんかんにな ないものを使うというのは理解しているのかというそういう質問でした。
2:02:32	中国電力の内藤です。
2:02:34	ちょっと僕ヒアリングの中で、
2:02:39	また、
2:02:41	何か、
2:02:42	ちょっとまだ説明。
2:02:44	できておりませんので、そこは
2:02:47	ヒアリングの際に説明して、ちょっと資料がその時、
2:02:51	準備できないかもしれないですけどそうであればまたその次の時に、説明はし たいと思います。以上です。
2:02:59	成長のヨシザキです了解しましたなんか全部終わった後に出てきて、やっぱり 使えないってなると、やり直しになってしまうんで、そういうことがないようにと いうか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:10	そういう何かアンテナ張ってですね、先にやるもの、
2:03:16	優先にぶつけて、そちらの方で説明するようになっていただければと思います。
2:03:24	私からは以上です。
2:03:27	中国電力の内藤です。承知いたしました。解析コードについては早めに説明できるようにいたします。以上です。
2:03:39	規制庁の楊主席それでは最後付確認をお願いします。
2:04:15	中国電力の高です。規制庁が画面の方見えてますでしょうか。
2:04:20	規制庁ヨシザキですが見えてす。はい。説明をお願いします。
2:04:27	はい、ではそれでは本日のコメントについてご説明させていただきます。まずコメント一つ目補足説明資料の 4142 ページですけれども、
2:04:35	ずっと文書で使用している要綱について統一するように、検討すること。
2:04:40	コメント二つ目、こちらも補足説明資料の 74 ページですけれども、
2:04:44	3.6 号炉新聞のうちに炉心分の範囲に高温燃料を保管することについて記載を検討すること。
2:04:52	コメント三つ目。
2:04:54	こちらも同様の箇所、補足説明資料の箇所ですけれども、キャスク置き場を明確にすること。また、スプレイ範囲の記載について補足を検討すること。
2:05:03	コメントの四つ目、こちら、添付資料、
2:05:07	テンパ。の 4047 の比較表の 1 ページですけれども、
2:05:11	制御棒貯蔵ラックを評価対象外とした理由について、補足説明資料への追記を検討すること。
2:05:19	コメント 1、五つ目が、補足説明、補足。
2:05:22	031 の 3 ページ目ですけれども、解析コードの区分について、各解析コードに対してリスト上で記載可能か検討すること。
2:05:32	コメントについては以上となります。
2:05:40	規制庁の義崎です。これでOKです。過不足ないです。
2:05:46	そちらから説明するものはあるんでしょうか。
2:05:56	中国電力ミナミダテです。特にこちらからはございません。
2:06:00	以上です。
2:06:03	規制庁の義崎それでは本日のヒアリングを終了したいと思います。ありがとうございました。
2:06:11	ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。